

Sodick Smart Solution

進化を続けるコア技術

JIMTOF 2024

開催レポート

2024年11月5～10日、国内最大規模の工作機械展示会「JIMTOF（日本国際工作機械見本市）」が開催。当社もブース出展し、1万人を超える多くのお客様に製品・サービスをアピールすることができました。



第32回JIMTOFは、コロナ禍以前の水準にまで客足が戻り、盛況のうちに終了しました。今回は、特に中華圏を中心とした海外からの来場者が多く、日本企業の工作機械の注目度の高さが垣間見えました。

当社ブースでは「自動化・省人化」「大型化対応」「IoTサービス」を軸に、新製品・新サービスを展示。近年にない引合件数を記録し、大きな反響がありました。実際にブースに来場したお客様からは、「ソディックらしい性能の高さ、顧客に寄り添う姿勢を感じた」とのお言葉をいただきました。ここでは、その展示内容の一部を紹介します。

PICK UP ①

ワイヤ放電加工機

AX350L i Groove+ Edition



製品情報
はこちら



ココがすごい！

顧客目線のユーザビリティと性能を両立する
ソディックの最新放電加工機



中子処理も
簡単！

開発担当者
に聞く！

Q 従来機から進化したポイントを教えてください。

A 「AX350L iG+E」は、高精度加工とユーザビリティを両立した放電加工機です。ワイヤ回転機構を搭載し、安定した高精度加工を実現するとともに、メンテナンス性向上や自動化にも対応しています。また省エネ性能が高く、導入企業のコストカットにも貢献します。

Q どのような産業での需要が見込まれますか？

A 現在市場が大きく成長している、モビリティ産業やモバイル電子機器産業での需要増を見込んでいます。



モビリティ産業

- EV車用モータコア
- 冷間鍛造金型（ダイス）



モバイル
電子機器産業

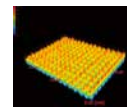
- ICリードフレーム

PICK UP ②



ココがすごい！

ソディック初のレーザー加工機
幅広い材質の超精密加工を実現



▲ 突起径6μ高さ20μの微細突起
パターン加工例。金型の撥水性、
離型性を高めることができる。



フェムト秒レーザー加工機

LSP4040

開発担当者
に聞く！

Q なぜ「レーザー加工」に着目したのですか？

A 当社ではこれまで微細加工向けにAZシリーズやナノマシンなどの高精度加工機を提供してきましたが、近年、放電や切削では困難な素材の加工需要が増加しています。そこでセラミックスやダイヤモンドなど幅広く対応できる、非熱加工の超短パルスレーザーに注目。長年の基礎研究の末、産業分野での応用もますます進展していることから、市場の将来性を見込み販売開始に至りました。

Q 「LSP4040」の特徴について教えてください。

A 「LSP4040」は搭載するレーザー発振器の標準仕様を設けず、お客様と共に仕様を決定するカスタマイズ方式を採用しています。最適なレーザー発振器の種類や軸構成、カウンター軸機構やロータリーテーブル追加など、お客様の使用環境や加工目的に応じて設計できます。実際に導入されたお客様からも、従来の選択肢に縛られず、一から仕様を作りこめる点を評価いただいております。

自動化・省人化

フルオート運転で
製造現場の課題を解決

工程間自動化システム「AMR RocoMo-V」を活用したフルオートシステムを展示しました。



大型化対応

ものづくりの大型化需要に
対応する大サイズ展開

大型化する金型部品（順送プレス、モールド金型、ダイカスト金型、部品加工）に対応できる精密加工機を紹介しました。



IoTサービス

未来を切り拓く
次世代の工作機械

タブレットNC「SateInC」を初出展。新しい形のNCとして進化をアピールしました。



他にも多数出展
詳しく知りたい方は



360° VR展示会